

題材名「プレゼンテーションを活用し自主研究の発表をしよう」

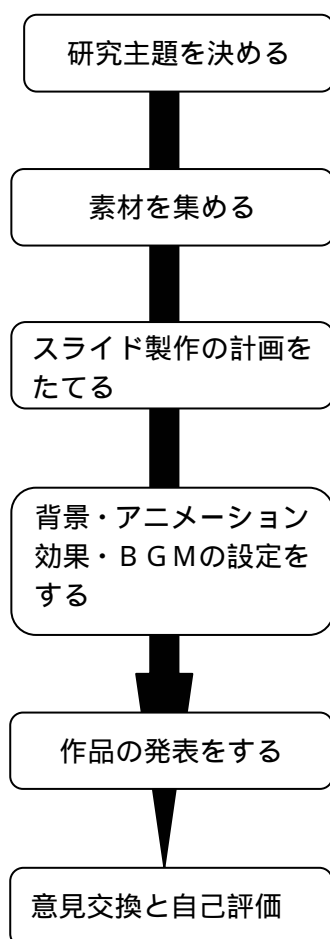
目 標

- ・ 個人情報の保護やモラルを含め、インターネットが有効に活用できる。
- ・ 素材を組み合わせ、目的にあったプレゼンテーションの制作ができる。
- ・ 研究した内容に自分の意見や考えを入れ、効果的に相手に伝えることができる。

コンピュータを活用する利点

学習活動にインターネットを利用することにより、調べ学習や問題解決学習に効果的な力を発揮するが、それ以上に、自ら情報を取捨選択する能力の育成や、情報モラル、セキュリティー問題などにも発展させて学習することができる題材であると考えた。また、自分の考えを相手に伝える手段としてプレゼンテーションを効果的に利用することで、情報伝達の学習が可能となる。

授業の流れ（全体時間10時間） ICT活用場面



生徒個々に興味を持っていることや不思議だなあと思うことを研究テーマとし、インターネットで調べたことをただ発表するだけでなく、自分の考えや意見を織りまぜ発表していくような作品にすることを目標の一つとした。

素材集めにインターネットを活用する。大変便利なもので操作も簡単であるが、著作権問題や有害な情報や間違った情報もあり、トラブルに巻き込まれない知識を身につけていくことの大切さを重点に置いて指導した。

スライド制作に於いて、文字の大きさ、レイアウトや背景と文字の調和を考えることの大切さや、BGMの活用や色使いを多用する事が必ずしも相手に伝えやすくなるものではないことを知ることができた。

さらに、発表においても、要点をしっかりまとめておくこと、話すスピードや声の大きさを考えていくことも相手に情報を伝えるときには、大変重要な要素であることを学習することができた。



成果と課題

生徒たちは、今まで自分の考えや調べたことを多くの人に伝える手段として、模造紙に描いたりOHPを活用することが多かったが、今回の学習でパソコンを道具として使うことが、情報をわかりやすく素早く相手に伝える有効なものであることを理解できたと思う。しかし、情報を正確に流すことや間違った情報かどうかを判断するのは、生徒個々の判断力が問われることになるので、日々の生活の中で意識し、磨いていかなければならないことを、これからも指導していきたい。

ICT活用環境等

使用周辺機器	デスクトップパソコン36台
使用ソフト名	Internet Explorer、PowerPoint
使用教室	コンピュータ教室、多目的ホール